年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校　令和8年度（３学年用）　　教科　地理歴史　科目　地理総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　B　組

教科担当者：　（A組：竹下・木南　）　（B組：竹下　）

使用教科書：　（　帝国書院『高校生の地理総合』　）

教科　地理歴史　の目標：

【知識及び技能】	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。
【思考力、判断力、表現力等】	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて議論したりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとすることができる。

科目　地理総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて議論したりすることができる。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとすることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名　地図とGISの活用 【知識及び技能】 地球儀や様々な図法の地図の活用から、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムの利用法について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムの利活用について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	第１編　１章　地図や地理情報システムと世界 １節 球面上の世界と地図 ①地球上の位置と時差 ②世界地図の見方・使い方 ③デジタル化された地図・GIS活用 ２節　国家の結びつきとグローバル化する社会 ①国家の領域と国境、領土問題 ②交通機関の発達と縮小する世界 ③情報・通信で一体化する世界 ・一人一台端末を使用したレポートの作成	【知識・技能】 地域の多様な文化や国際社会に関わる事柄について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2学期	単元名　生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 国家の領域の定め方、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の国々の領土問題や、国々の結びつき等について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国家の領域や領土、世界の国々の結びつき等について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	第２編　国際理解と国際協力 １章　生活・文化の多様性と国際理解 ①衣食住から見る世界 ②暮らしを豊かにする産業 ③宗教と人々の暮らし ２章　地球的課題と国際協力 １節　持続可能な社会を目指して ２節　すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて ３節　自然と調和した豊かな社会に向けて	【知識・技能】 地域の多様な文化や国際社会に関わる事柄について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		2
3学期	単元名　地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 日本の自然災害の特徴や、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自然災害の地域的特徴や種類、防災・減災への取組を、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	第３編　持続可能な地域づくりと私たち １章　自然環境と防災 ①地球規模で見る地形の姿と自然災害 ②人々の暮らしを取りまく自然環境 ③変動帯・湿潤地域の自然と防災 ④私たちができる災害への備え ２章　生活圏の調査と地域の展望 ①地域調査の方法 ・一人一台端末を使用した調べ学習、レポートの作成	【知識・技能】 地域の多様な文化や国際社会に関わる事柄について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計
							74